



2016年度 決算

(2016年4月～2017年3月)

2017年5月11日

塩野義製薬株式会社
代表取締役社長 手代木 功



本日のアジェンダ



- 1. 2016年度 決算の概要**
- 2. 2017年度 業績予想**
- 3. 2017年度 ビジネスプラン**
- 4. 株主還元について**

1. 2016年度 決算の概要

決算ハイライト① トップラインが継続的に成長

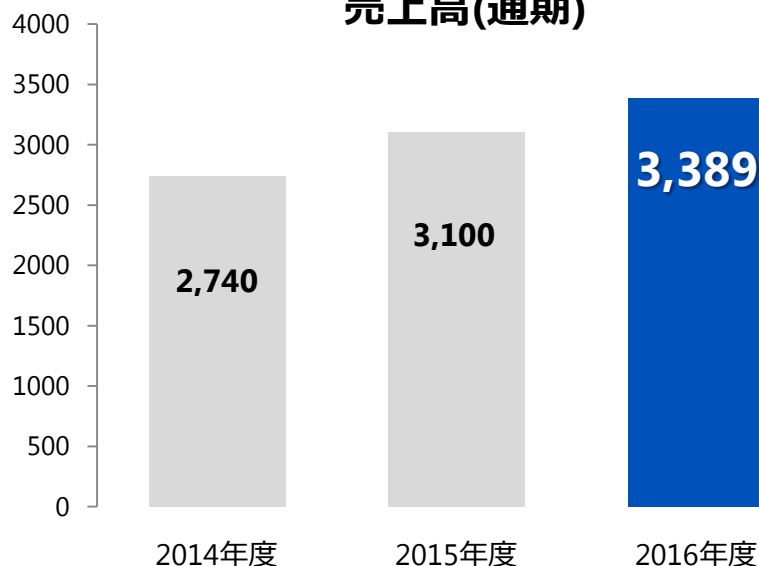
2年連続
増収

◆ 売上高： **3,389億円**（対前年 +9.3%）

◆ ロイヤリティー収入*： **1,063億円**（対前年 +20.7%）
（HIVフランチャイズの販売拡大により前年を大きく上回る）

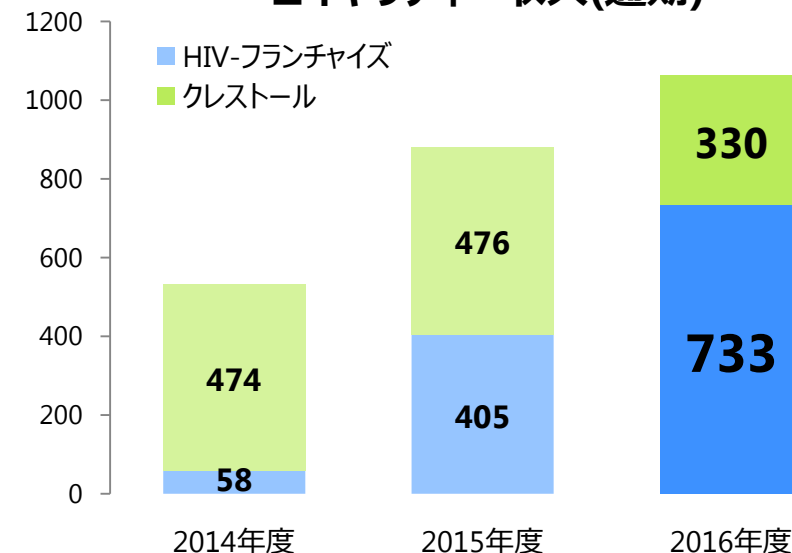
(億円)

売上高(通期)



(億円)

ロイヤリティー収入(通期)



決算ハイライト② 各利益は過去最高



◆ 営業利益： **1,082億円** (対前年 +18.3%)

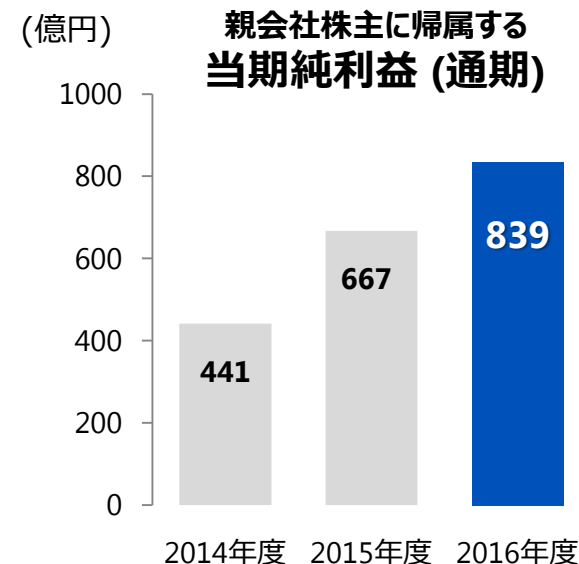
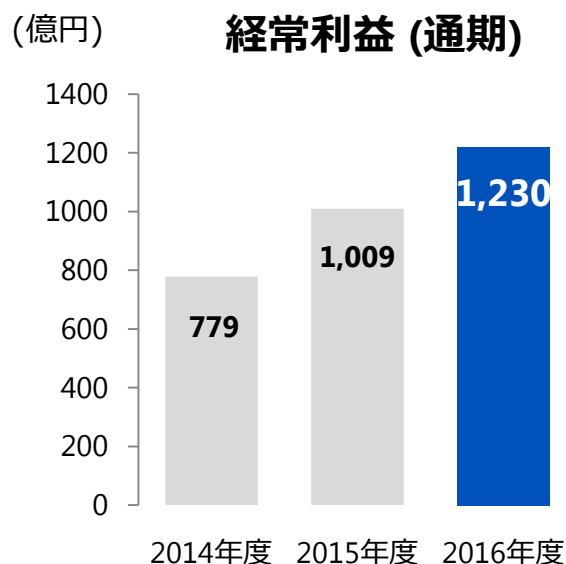
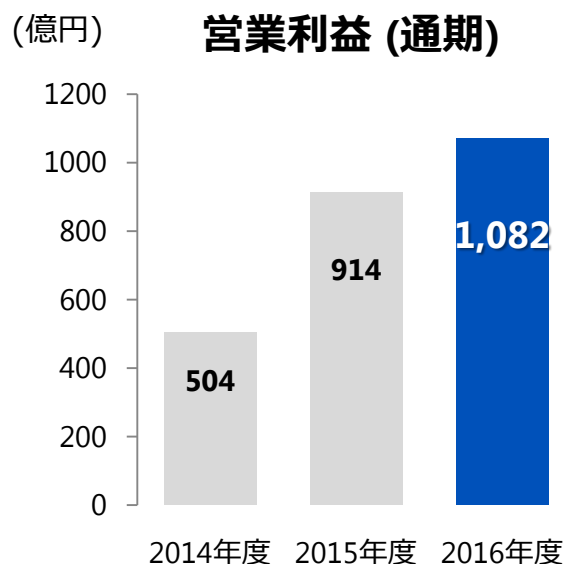
2年連続
過去最高

◆ 経常利益： **1,230億円** (対前年 +22.0%)

5年連続
過去最高

◆ 親会社株主に帰属する
当期純利益： **839億円** (対前年 +25.8%)

4年ぶり
過去最高



決算ハイライト③ KPI - 2016年度の結果 -



成長性 KPI

- 新製品売上* : **439億円** (2,000億円)
(対前年 +11.7%)
- 経常利益 : **1,230億円** (1,500億円)

効率性 KPI

- ROIC ** : **13.3%** (13.5%以上)
- CCC*** : **6.7カ月** (5.5カ月)
- 自社創薬比率 : **68.2%** (50%以上)

株主還元 KPI

- ROE : **16.3%** (15.0%以上)
- DOE : **4.5%** (4.0%以上)

括弧内は2020年度目標

連結経営成績



(単位：億円)

				2016年度		2015年度		対前年
				通期予想	通期実績	進捗率	通期実績	UP率
売	上	高	3,340	3,389	101.5%	3,100	9.3%	
営	業	利	益	975	1,082	111.0%	914	18.3%
経	常	利	益	1,055	1,230	116.6%	1,009	22.0%
親会社株主に帰属する				760	839	110.4%	667	25.8%
当	期	純	利	益				

予算精度の向上

年度	2013	2014	2015	2016
予算達成	○*	◎	◎	◎

◎ 売上高、各利益の予算をすべて達成

○ 売上高、各利益の予算の何れかを達成

*2013年度は当期純利益のみ未達（達成率 97.2%）

為替レート (期中平均)	2016年度 前提	2016年度 実績
ドル	105円	108.39円
ポンド	140円	141.62円
ユーロ	120円	118.80円

事業別・製商品別売上高



(単位：億円)

	通期 予想	2016年度 実績	対予算 達成率 (%)	2015年度 実績	対前年 UP率 (%)
国内医療用医薬品	1,602	1,580	98.6	1,621	△2.5
クレストール®	429	431	100.5	437	△1.4
サインバルタ®	193	190	98.6	152	25.0
イルベタン®類	158	153	96.9	157	△2.6
戦略3品目 合計	779	774	99.3	746	3.7
オキシコンチン®類	99	97	97.7	100	△3.7
フィニバックス®	36	33	90.9	38	△12.8
ピレスパ®	60	58	97.3	60	△2.6
ラピアクタ®	23	29	123.9	20	41.4
戦略7品目 合計	998	991	99.3	965	2.7
(7品目売上高比率)	62.3%	62.7%		59.5%	
海外子会社/輸出	248	292	117.8	297	△1.7
シオノギ Inc.	136	179	131.1	166	7.4
Osphena®	48	47	98.8	48	△2.1
製 造 受 託	124	121	97.8	84	43.4
一般用医薬品	70	68	96.7	49	39.5
ロイヤリティー収入	1,123	1,157	103.0	1,018	13.6
(うちクレストール®およびHIVフランチャイズ)	1,030	1,063	103.2	881	20.7
クレストール®	328	330	100.8	476	△30.6
HIVフランチャイズ	702	733	104.4	405	81.1
その他	172	171	99.1	30	469.7
合計	3,340	3,389	101.5	3,100	9.3

◆ 対前年比較

国内医療用医薬品

- 薬価引き下げおよび長期収載品24品目の移管に伴う売上減
- 戦略品目は伸長し、戦略7品目売上高比率が増加
 - クレストール®：OD錠の発売、採用軒数増
 - サインバルタ®：うつ領域の伸長、痛み領域の認知度拡大（リソースの集中投下、製品価値の最大化）

海外子会社/輸出

米国事業

- Osphena®の処方箋枚数が順調に増加
- オーソライズドジェネリックのロイヤリティー収入が増加

ロイヤリティー収入

HIVフランチャイズ：順調に拡大

その他

長期収載品の移管に係る対価を受領

損益計算書



(単位：億円)

	通期 予想	2016年度 実績	対予算 達成率 (%)	2015年度 実績	対前年 UP率 (%)
売上高	3,340	3,389	101.5	3,100	9.3
(ロイヤリティー*収入)	1,030	1,063	103.2	881	20.7
	23.4 (33.8)	23.0 (33.4)		24.1 (33.7)	
売上原価	780	778	99.7	748	4.0
販売費・ 一般管理費	47.5 1,585	45.1 1,529		46.4 1,438	
	29.3 18.1	27.5 17.7		30.3 16.1	
販売・管理費	980	930	94.9	940	△1.1
研究開発費	605	599	99.0	498	20.3
	29.2	31.9		29.5	
営業利益 (ロイヤリティー*収入を除く)	975 △55	1,082 19	111.0 -	914 33	18.3 -
営業外収支	P80	P149	185.7	P95	57.0
	31.6	36.3		32.5	
経常利益	1,055	1,230	116.6	1,009	22.0

◆ 対前年比較

売上原価

売上原価率の改善

- サインバルタ®の売上拡大、原価削減
- ロイヤリティー収入の拡大および長期収載品の移管に係る対価を受領

販売費・一般管理費

トータルコストマネジメント

- S-033188等の成長ドライバーへの投資を含め、研究開発費を増加（前年比 +20.3%）させた一方、厳格にトータルコストをコントロール（前年比 +6.3%）

営業外収支

ViiV社からの配当（前年比 +68億円）

- 通常配当に加えて臨時配当金を受取

下期の取り組みと結果 - 2017年度に向けて①



• 成長ドライバーへの投資

- 下期修正予算において追加した研究開発費を、最も優先度の高い抗インフルエンザ治療薬候補S-033188に投入し、グローバル開発を加速
- さらに、開発品の厳格な優先順位付けを行い、将来の成長ドライバーとなるインチュニブ®（国内）、cefiderocol（グローバル）等に優先的に投資

• 生産性を向上させるための基盤整備

- 国内
 - > 新製品に特化すべく他社に先駆けて国内長期収載品24品目を売却
 - > 生産性向上と社会要請（雇用延長等）を満たすため6つのグループ会社を設立
- 米国
 - > Purdue社、Duchesnay社と戦略的事業提携を締結



**新製品をコアとした2017年度以降の成長に必要な投資を計画通り
行いながら、計画以上の2016年度増収増益を達成**

下期の取り組みと結果 - 2017年度に向けて②



• 特別損益

- 投資有価証券売却益（政策保有株式の売却） + 22億円
- 事業構造改善費用（特別退職金等：米国） ▲22億円
- 減損損失（摂津工場遊休施設） ▲4億円

• 法人税等

- 繰延税金資産の取崩（米国） ▲103億円

※ Purdue社、Duchesnay社との協業等に伴うビジネスモデルの変更により、将来収益を保守的に見直した結果



米国事業の黒字化に向けて

- Purdue社（米国疼痛市場におけるリーディングカンパニー）、Duchesnay社（産科婦人科領域に特化したスペシャリティーファーマ）との戦略的事業提携を最大限に活用し、より少ない自社の経営資源で Symproic®とOsphena®の製品価値を最大化させ、経営基盤を強化
- 今後上市予定の病院市場に特化した自社創薬の新製品により、生産性の高いビジネスへの転換を目指す

国内事業の強化・拡大

- **サインバルタ®、クレストール®**
 - サインバルタ®適応拡大、クレストール®OD錠発売等により、戦略品目の売上が拡大
- **ADHD治療薬**
 - インチュニブ®の小児における適応取得
- **オキシコドン/スインプロイク®**
 - オキシコドン乱用防止製剤/慢性疼痛における鎮痛の適応申請
 - スインプロイク®のOIC適応取得

海外事業の強化・拡大

- **米国事業の基盤強化**
 - 製品価値の最大化に向けた戦略的事業提携を締結
 - Symproic®（Purdue社）、Osphena®（Duchesnay社）
- **中国事業の成長に向けた変革**
 - 成長市場への展開に備え、C&O社を品質や価格で競争力を発揮できる企業に変革

グローバル開発の推進

- **S-033188**

- OwH*試験は予定通り投薬完了、HR**試験も順調に進捗

- **Cefiderocol**

- 米国申請準備、CR***試験及び院内肺炎試験を開始

- **ナルデメジン**

- 米国承認取得（Symproic®）、欧州申請

コストマネジメント

- **トータルコストマネジメント**

- 全社で販売・管理費を厳格に管理し、最も優先度の高いS-033188及び将来の成長ドライバーとなるcefiderocol等の開発に経営資源を集中
- 既存のグループ会社も含め、グループ全体の生産性向上を図るため、国内グループ会社を新たに6社設立。効率的な機能分担をしながら、専門性の向上、人材育成の促進にも取り組む。

2016年度パイプライン進捗目標と実績



領域	開発品	2016年4月1日時点	2016年度目標
感染症	Cefiderocol 多剤耐性グラム陰性菌感染症	グローバル : Phase II、III	米国 : 申請準備 米国 : 院内肺炎試験開始
	S-033188 インフルエンザ感染症	日本 : Phase II 米国 : Phase I	日本 : Phase II 完了 米国 : Phase I 完了 グローバル : Phase III 開始、日本 : Phase III(小児)開始
疼痛 神経	グアンファシン 小児ADHD	日本 : 申請	日本 : 承認
	サインバルタ® 変形性関節症に伴う疼痛	日本 : 申請	日本 : 承認
	ナルデメジン オピオイド誘発性便秘症	日本・米国 : 申請	日本・米国 : 承認 欧州 : 申請
	オキシコドン 慢性疼痛における鎮痛	日本 : Phase III	日本 : 申請
	オキシコドン 乱用防止製剤	日本 : Phase I 完了	日本 : 申請
	リスデキサンフェタミン 小児ADHD	日本 : Phase III	日本 : Phase III完了
代謝性 疾患	S-237648 肥満症	日本 : Phase II	日本 : Phase II 完了 米国 : Phase I 開始
フロンティア 疾患	ルストロンボバグ 慢性肝疾患による血小板減少症	グローバル : Phase III	グローバル : Phase III
	S-222611 悪性腫瘍	欧州 : Phase I/II	欧州 : Phase I/II 完了

国内事業

- サインバルタ®、ムルプレタ®、アシテア®等を中心とした新製品群の拡大

海外事業

- 最大市場の米国や成長市場の中国を含め、シオノギグループ全体に対する販売及び利益貢献

生産性

- ロイヤリティー収入を除いた従業員一人当たりの売上高/営業利益の改善



新製品の価値を早期に最大化

2. 2017年度 業績予想

業績予想



(単位：億円)

	2017年度予想		2016年度	対前年	
	通期	上期	実績	UP率(%)	増減額
売上高	3,400	1,625	3,389	0.3	11
営業利益	1,125	460	1,082	4.0	43
経常利益	1,235	515	1,230	0.4	5
親会社株主に帰属する 当期純利益	920	385	839	9.7	81

為替レート (期中平均)	2017年度 前提	2016年度 実績
ドル	110.0円	108.39円
ポンド	140.0円	141.62円
ユーロ	120.0円	118.80円

事業別売上高予想



(単位：億円)

	2017年度予想		2016年度 実績	対前年	
	通期	上期		UP率(%)	増減額
国内医療用医薬品	1,439	752	1,580	△8.9	△141
海外子会社 / 輸出	254	123	292	△13.1	△38
シオノギ Inc.	120	60	179	△32.8	△59
Osphena [®]	46	22	47	△3.1	△1
製造受託	153	79	121	26.1	32
一般用医薬品	75	34	68	10.6	7
ロイヤリティー収入	1,450	623	1,157	25.4	294
(うちクレストール [®] およびHIVフランチャイズ)	1,250	564	1,063	17.6	187
クレストール [®]	220	110	330	△33.4	△110
HIVフランチャイズ	1,030	454	733	40.5	297
その他	29	14	171	△83.1	△142
合計	3,400	1,625	3,389	0.3	11

KPI - 2017年度の目標 -



成長性 KPI

- 新製品売上：**531億円** (2,000億円)
(対前年 +20.7%)
- 経常利益：**1,235億円** (1,500億円)

効率性 KPI

- ROIC：**13.4%** (13.5%以上)
- CCC：**6.3ヵ月** (5.5ヵ月)
- 自社創薬比率：**50%以上** (50%以上)

株主還元 KPI

- ROE：**16.3%** (15.0%以上)
- DOE：**4.3%** (4.0%以上)

括弧内は2020年度目標

3. 2017年度 ビジネスプラン

- **国内販売**
 - 主力製品（クレストール®、イルベタン®）に対するジェネリックの参入
 - 長期収載品の承継による売上高の減少
- **原価**
 - 長期収載品の減少による原価メリットの享受には時間を要する
- **ロイヤリティー収入**
 - アストラゼネカ社からのクレストール®ロイヤリティー収入の減少
- **コスト**
 - 複数の新製品上市に伴うプレローンチ費用/販売費用の増加

国内における戦略品目の変更



従来の戦略品目

戦略3品目

- クレストール®
- サインバルタ®
- イルベタン®ファミリー

戦略7品目

- 戦略3品目、オキシコンチン®類、フィニバックス®、ピレスパ®、ラピアクタ®

今後の戦略品目

戦略品

- サインバルタ®
- インチュニブ®
- スインプロイク®、オキシコドン乱用防止製剤/慢性疼痛における鎮痛

新製品

- 戦略品、アシテア®、ムルプレタ®、ピレスパ®、オキシコンチン®類、ラピアクタ®、ブライトポック®Flu、グラッシュビスタ®

**新製品のラインナップを考慮し、
資源を集中投下する戦略品目を変更**

2017年度の課題と対応策



2017年度にシオノギを取り巻く事業環境の変化への対応

	課題	対応策
販売	【国内】 ・ジェネリック品の参入 ・承継による売上減少	・国内：痛み領域へ適応拡大をしたサインバルタ®、インチュニブ®、スインプロイク®、オキシコドン乱用防止製剤を中心とした成長 ・米国：戦略的事業提携による早期のSymproic®とOsphena®の価値最大化
ロイヤリティー収入	・クレストール®ロイヤリティー収入の減少	・HIVフランチャイズのグローバル売上拡大によるロイヤリティー収入の伸長
コスト	・新製品上市に伴う費用の増加	・研究開発費、原価等を含めたトータルコストマネジメントによる生産性の向上

2017年度も増収増益を達成

損益計算書予想



単位：億円)

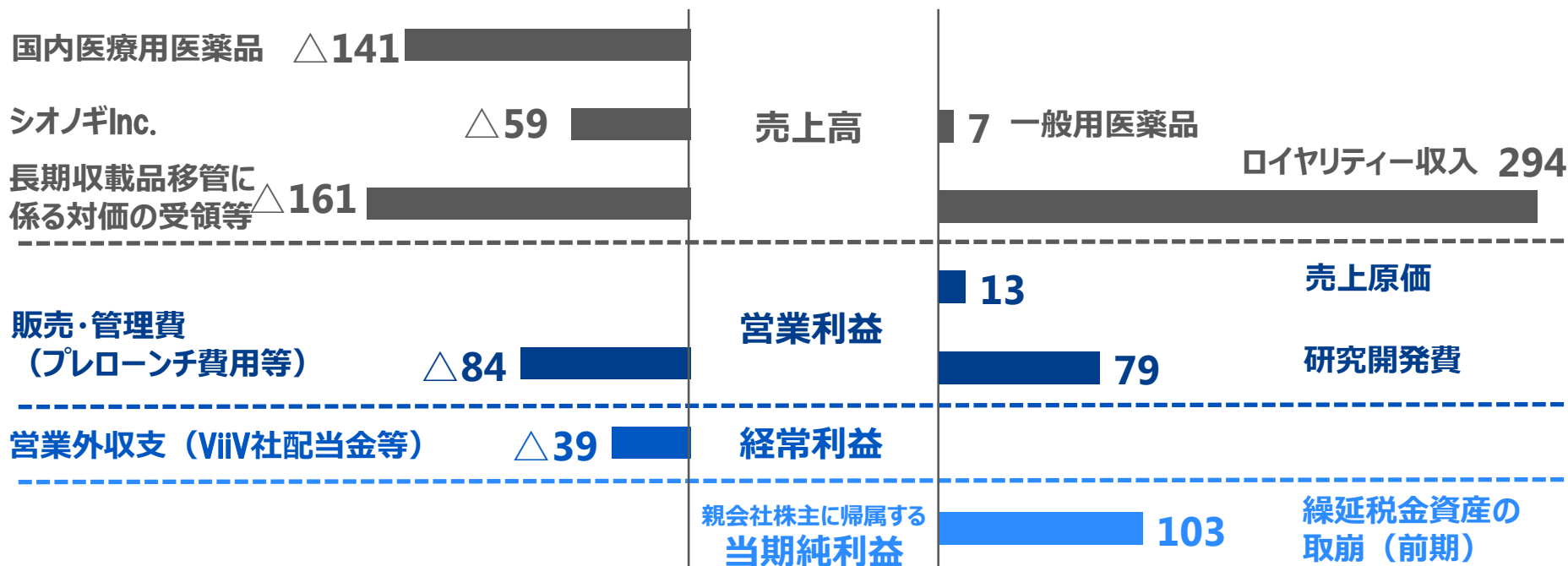
	2017年度予想		2016年度	対前年	
	通期	上期	実績	UP率(%)	増減額
売上高	3,400	1,625	3,389	0.3	11
(ロイヤリティー*収入)	1,250	560	1,063	17.6	187
	22.5 (35.6)	24.9 (38.0)	23.0 (33.4)		
売上原価	765	405	778	△1.6	△13
売上総利益	2,635	1,220	2,611	0.9	24
販売費・	44.4	46.8	45.1		
一般管理費	1,510	760	1,529	△1.3	△19
販売・管理費	990	485	930	6.4	60
研究開発費	520	275	599	△13.2	△79
	33.1	28.3	31.9		
営業利益	1,125	460	1,082	4.0	43
(ロイヤリティー*収入を除く)	△125	△100	19	-	△144
営業外収支	P110	P55	P149	△25.9	△39
	36.3	31.7	36.3		
経常利益	1,235	515	1,230	0.4	5
親会社株主に帰属する 当期純利益	920	385	839	9.7	81

増収増益計画の内訳（主な増減要因）



（単位：億円）

			2017年度 予想	対前年 増減額
売	上	高	3,400	11
営	業	利	1,125	43
経	常	利	1,235	5
親会社株主に帰属する 当期純利益			920	81



国内医療用医薬品予想



(単位：億円)

	2017年度予想		2016年度 実績	対前年	
	通期	上期		UP率(%)	増減額
サインバルタ [®]	253	111	190	33.2	63
インチュニブ [®]	6	3	-	-	6
スインプロイク [®]	4	1	-	-	4
戦 略 品 合 計	263	115	190	38.4	73
アシテア [®]	1	0	1	66.8	1
ムルプレタ [®]	2	1	1	32.1	0
ピレスパ [®]	60	31	58	2.1	1
オキシコンチン [®] 類	89	46	97	△ 8.2	△ 8
ラピアクタ [®]	28	1	29	△ 3.4	△ 1
ブライトポック [®]	9	1	10	△ 5.9	△ 1
グラッシュビスタ [®]	7	3	6	24.8	1
新 製 品 合 計	458	199	391	17.1	67
クレストール計	364	247	431	△ 15.6	△ 67
イルベタン類	148	76	153	△ 3.1	△ 5
その他国内医療用医薬品	469	230	605	△ 22.5	△ 136
国内医療用医薬品	1,439	752	1,580	△ 8.9	△ 141

国内医療用医薬品予想の主な増減要因

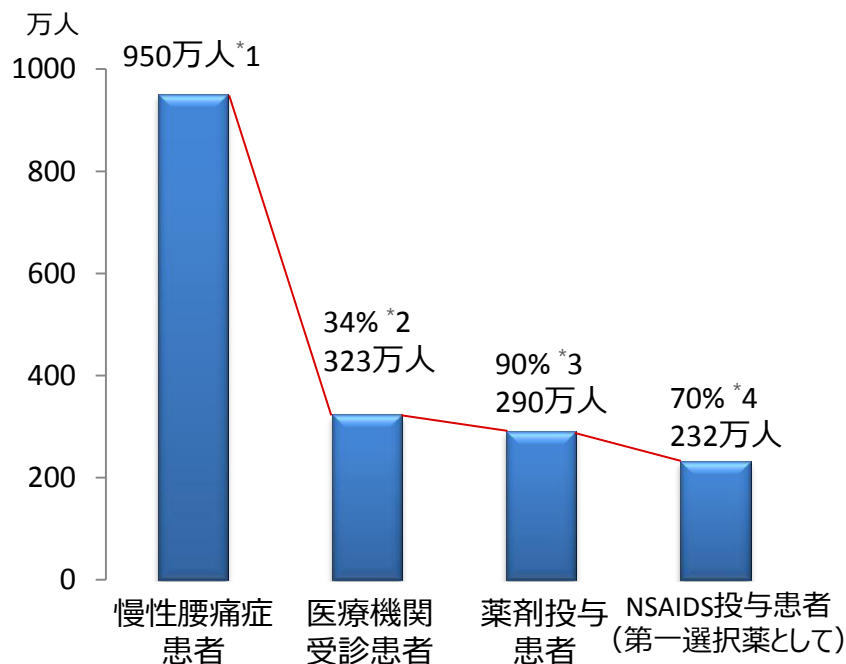


新製品	上期	下期	通期
新製品(サインバルタ®等)の売上増	23億円	+44億円	+67億円
Crestol®、Ilbetan® のジェネリック参入	+26億円	▲98億円	▲72億円
長期収載品等	上期	下期	通期
長期収載品(フロモックス®等)、ラピアクタ備蓄等の売上減少	▲51億円	▲37億円	▲88億円
長期収載品の承継(24品目の減少)	▲38億円	▲10億円	▲48億円
国内医療用医薬品	▲40億円	▲101億円	▲141億円

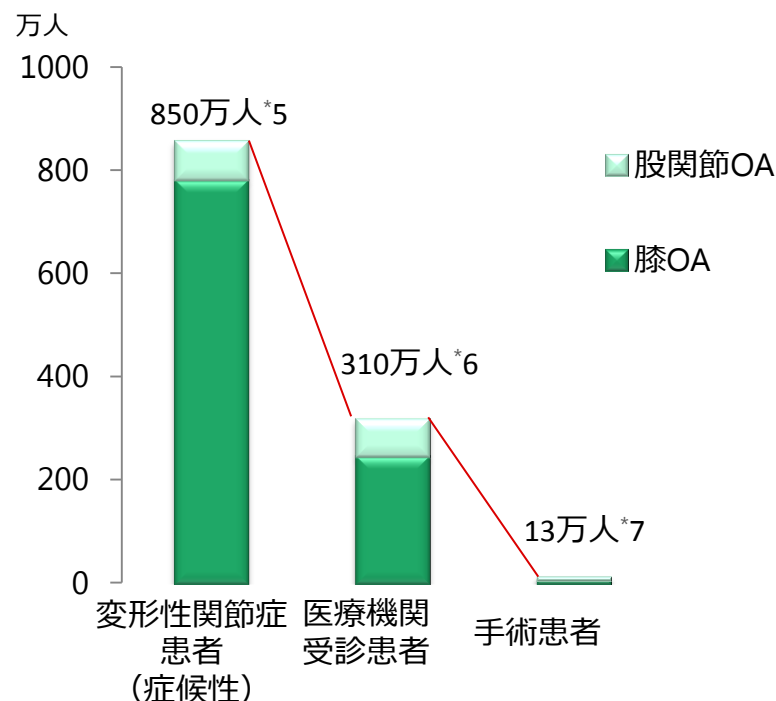
- ・ Crestol®、Ilbetan® のジェネリック参入による売上減を新製品(サインバルタ®、インチュニブ®、スインプロイク®等)の売上増でカバー
- ・ 長期収載品に依存しない新薬中心のビジネスへの取り組み

慢性腰痛及び変形性関節症の市場性

慢性腰痛症患者数



変形性関節症 (OA) 患者数



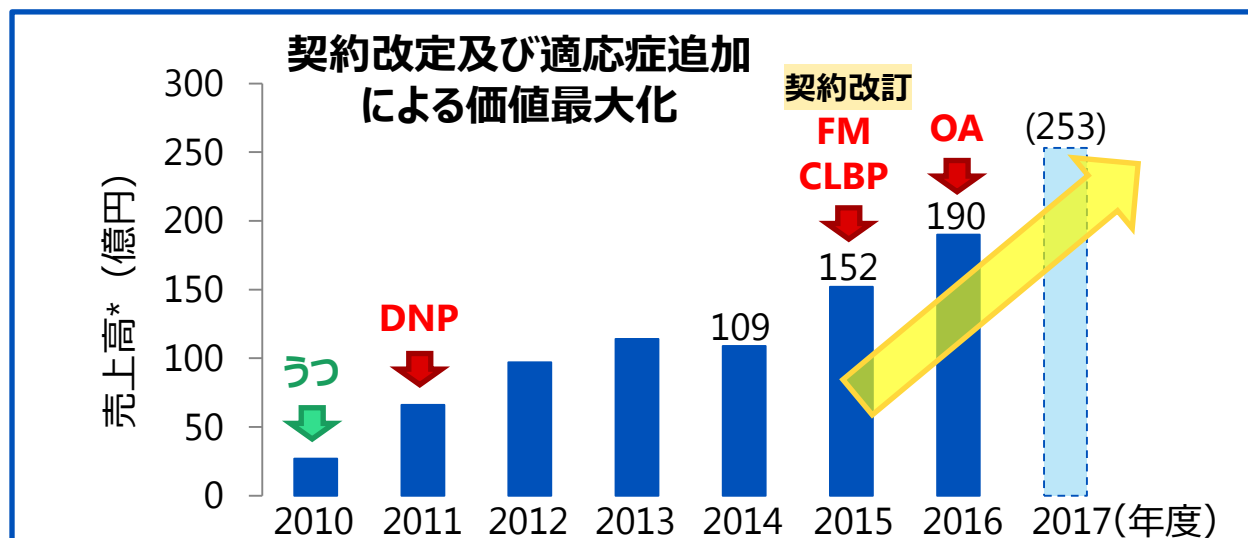
既存市場におけるシェア獲得および、受診患者増を目指す

疼痛領域における販売拡大のためのアクション

- 日本イーライリリーとのさらなる連携
- 主な販売リソースを整形外科、内科に集中
- 優れた長期安全性から、長く続く痛みによりADL・QOLが低下している慢性疼痛患者（DNP、FM、CLBP、OA）に対するベース薬としての位置付け



4つの疼痛適応症により、疼痛領域での製品価値を最大化

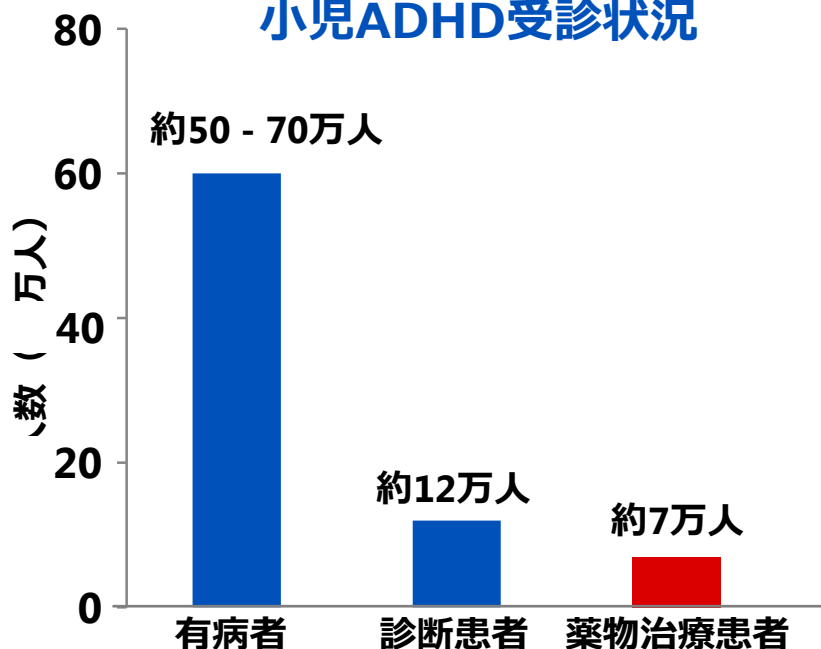


新製品による成長② インチュニブ®

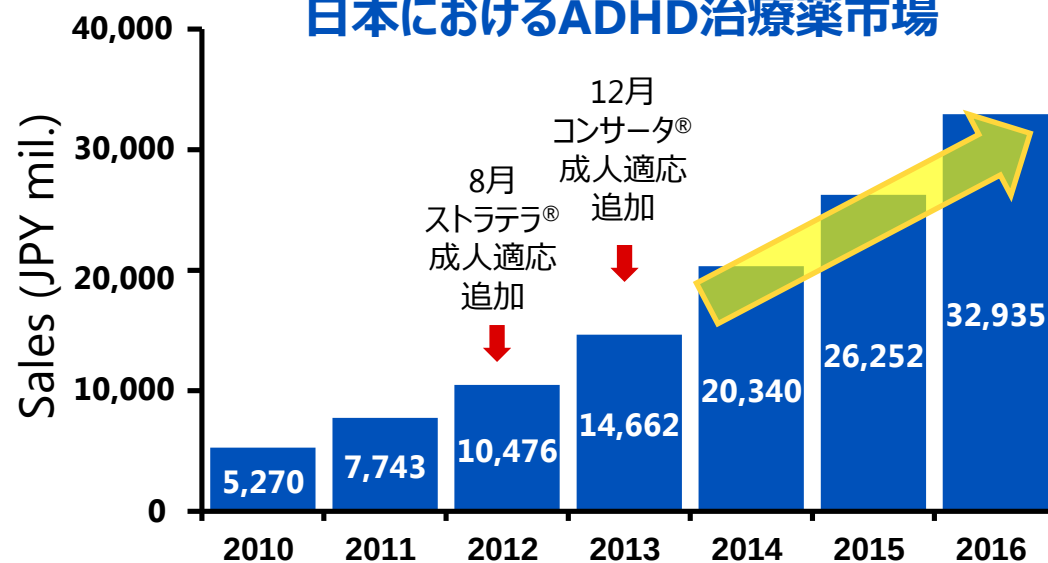


市場性

小児ADHD受診状況



日本におけるADHD治療薬市場



Reprinted with permission
Copyright (c) 2017 Quintiles IMS. Calculated based on IMS JPM Jan. 2017

【参考】海外販売実績（Shire社）

- Intuniv®: \$335M (2013年実績、2014年12月ジェネリック発売)
- Vyvanse®: \$2,014M (2016年実績、前年比17%増)

早期の立ち上げと販売拡大のためのアクション

- 地域ごとに高い専門性を持つ治療領域担当者を配置
- シオノギの全MRがインチュニブ®の情報提供活動を実施
- シャイアー・ジャパンとのプロモーション連携

**新規作用機序の非中枢刺激薬インチュニブ®と中枢刺激薬
リスデキサンフェタミンの2剤により、新たな領域で価値最大化**

発売予定

2017年度
インチュニブ®
小児

2018年度
リスデキサンフェタミン
小児

2019年度
インチュニブ®
成人

2020年度以降
リスデキサンフェタミン
成人

市場性

- 日本におけるオピオイドの市場規模は、約350億円（患者数 約110万人）
- 日本の非がん性疼痛市場における強オピオイド使用患者は1%程度（約40億円）
 - 強オピオイド適用可能患者に十分に服用されていない可能性
- オピオイド鎮痛薬による便秘症状を発症：40～50%

Source: Calculated based on IMS Health MIDAS MAT-2Q12 他

社会とともに



現行製剤：粉碎可能

医療用麻薬の乱用を防止し、
適正な使用による疼痛治療
法の普及を行う



新オキシコドン乱用防止製剤

- 破碎抵抗性を付与
- 水を加えるとゲル化

オピオイドおよびOIC関連製品の価値最大化



価値最大化のためのアクション（2017年度）

メサペイン®発売

癌疼痛治療における
ラインナップの強化

スインプロイク®発売

オピオイドによる副作用を緩和
することで、経口剤による
100%ペインフリーを実現

オキシコドン乱用防止製剤
/慢性疼痛における鎮痛発売

オピオイドの誤使用の防止およ
びオピオイド対象患者の拡大

連携によるシナジー： サインバルタ®⇔オキシコドン乱用防止製剤⇔スインプロイク®



感染症領域

- **S-033188** : PhIII試験を2試験実施中
 - ①OwH試験（投薬完了） ②HR試験
- **Cefiderocol** : PhIII試験を2試験実施中
 - ①カルバペネム耐性菌感染症②院内肺炎

疼痛・神経領域

- S-120083 : PhII試験を米国で実施中
- S-117957 : PhI試験を実施中

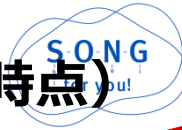
フロンティア領域

- **ルストロンボパグ** : PhIII試験を実施中（患者集積完了）

米国シオノギンクの新たな事業戦略

- **戦略的事業提携を最大限に活用**
⇒ より少ない自社の経営資源により、製品価値を最大化
 - Purdue社（米国疼痛治療市場におけるリーディングカンパニー）との事業提携を活用したSymproic®の早期立ち上げ
 - Duchesnay社（産科婦人科に特化したスペシャリティーファーマ）との事業提携を活用したOsphena®の価値最大化
- **病院市場に特化した生産性の高い自社創薬の新製品上市**
⇒ 生産性の高いビジネスへの転換
 - Cefiderocol（多剤耐性グラム陰性菌感染症）
 - > 2017年度上期申請（QIDP* 指定品目）
 - ルストロンボパグ（血小板減少症）
 - > 2017年度下期申請（ファストトラック指定品目）

2017年度パイプライン進捗目標と実績 (2017年5月時点)



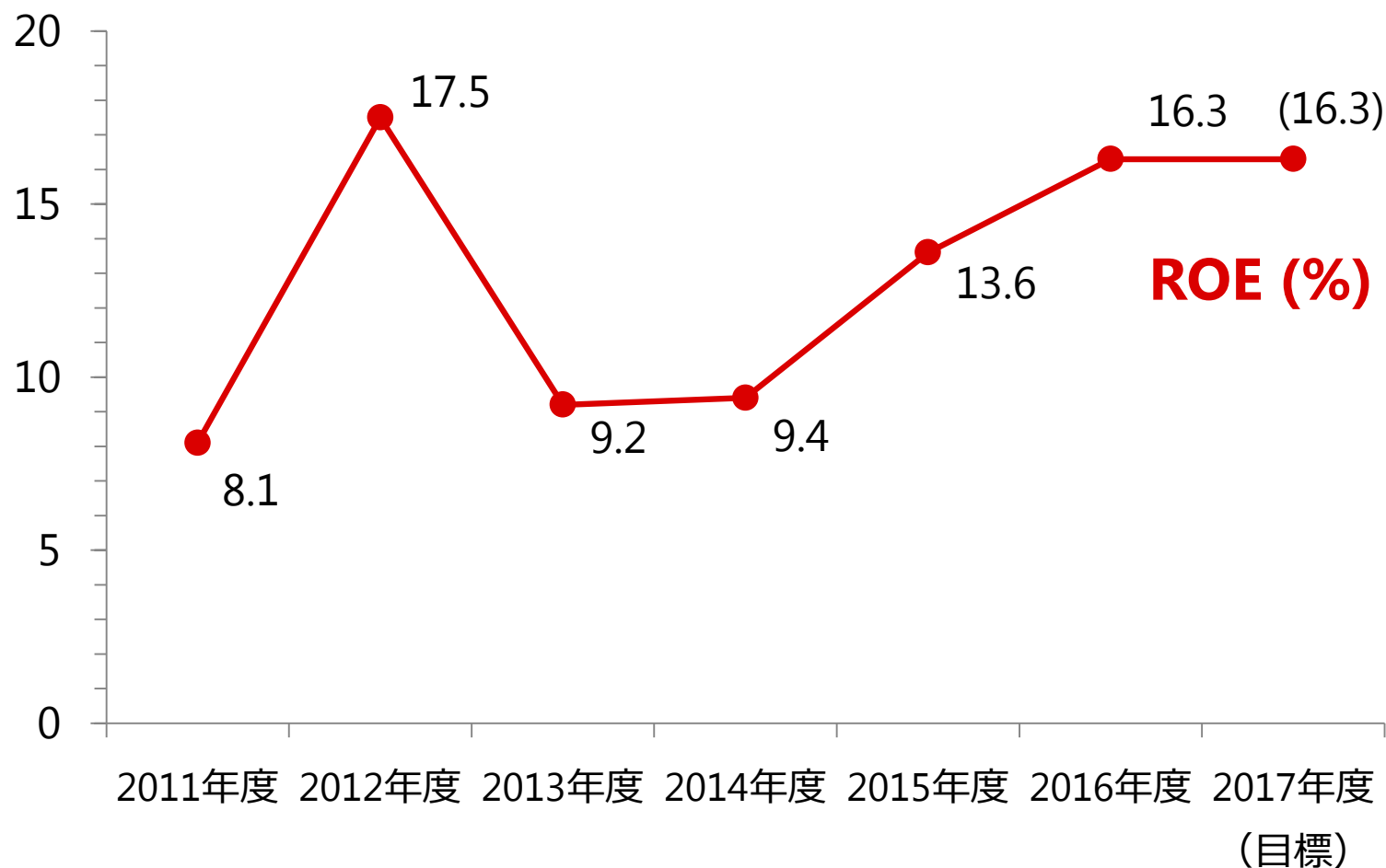
領域	開発品	2017年4月1日時点	2017年度目標
感染症	Cefiderocol 多剤耐性グラム陰性菌感染症	米国：申請準備	米国：申請
	S-033188 インフルエンザ感染症	グローバル：Phase III 日本：Phase III(小児)	日本：申請
疼痛神経	インチュニブ® 小児ADHD	日本：承認	日本：発売
	スインプロイク® オピオイド誘発性便秘症	日本：承認	日本：発売
	Symproic® オピオイド誘発性便秘症	米国：承認	米国：発売
	オキシコドン 慢性疼痛における鎮痛	日本：申請	日本：承認
	オキシコドン 乱用防止製剤	日本：申請	日本：承認
	リスデキサンフェタミン 小児ADHD	日本：申請準備	日本：申請
	S-600918 神経障害性疼痛	日本：Phase I	地域未定：Phase II
	ルストロンボバグ 慢性肝疾患による血小板減少症	グローバル：Phase III	米国、欧州：申請
フロンティア疾患	アシテア® 小児通年性アレルギー性鼻炎(ダニ)	日本：申請	日本：承認

4. 株主還元について

資本効率の向上（ROEの推移）

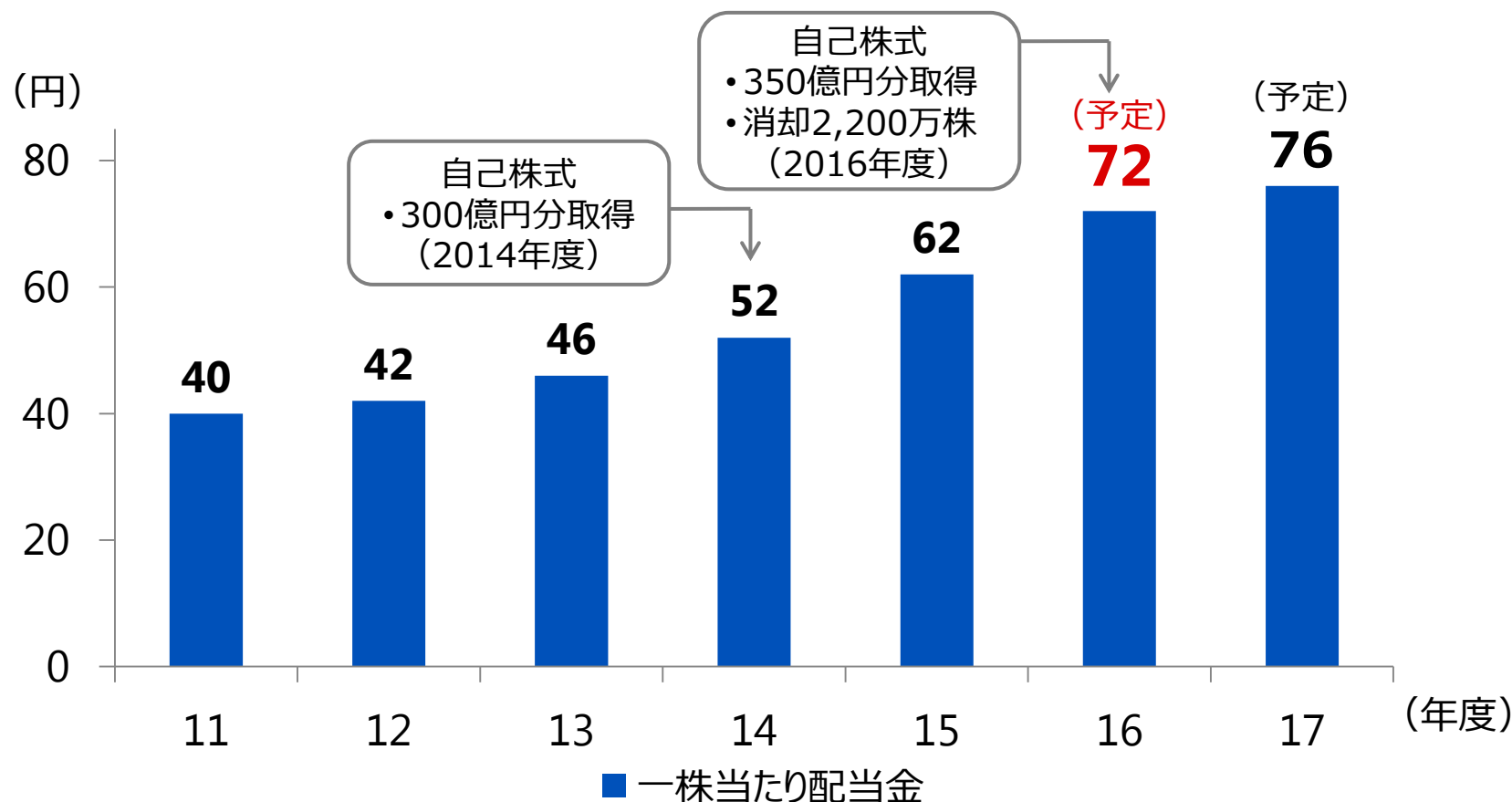


収益力の強化により着実に資本効率を向上



継続的な増配ならびに機動的な自己株式の取得

5年連続増配予定



利益配分等に関する基本方針



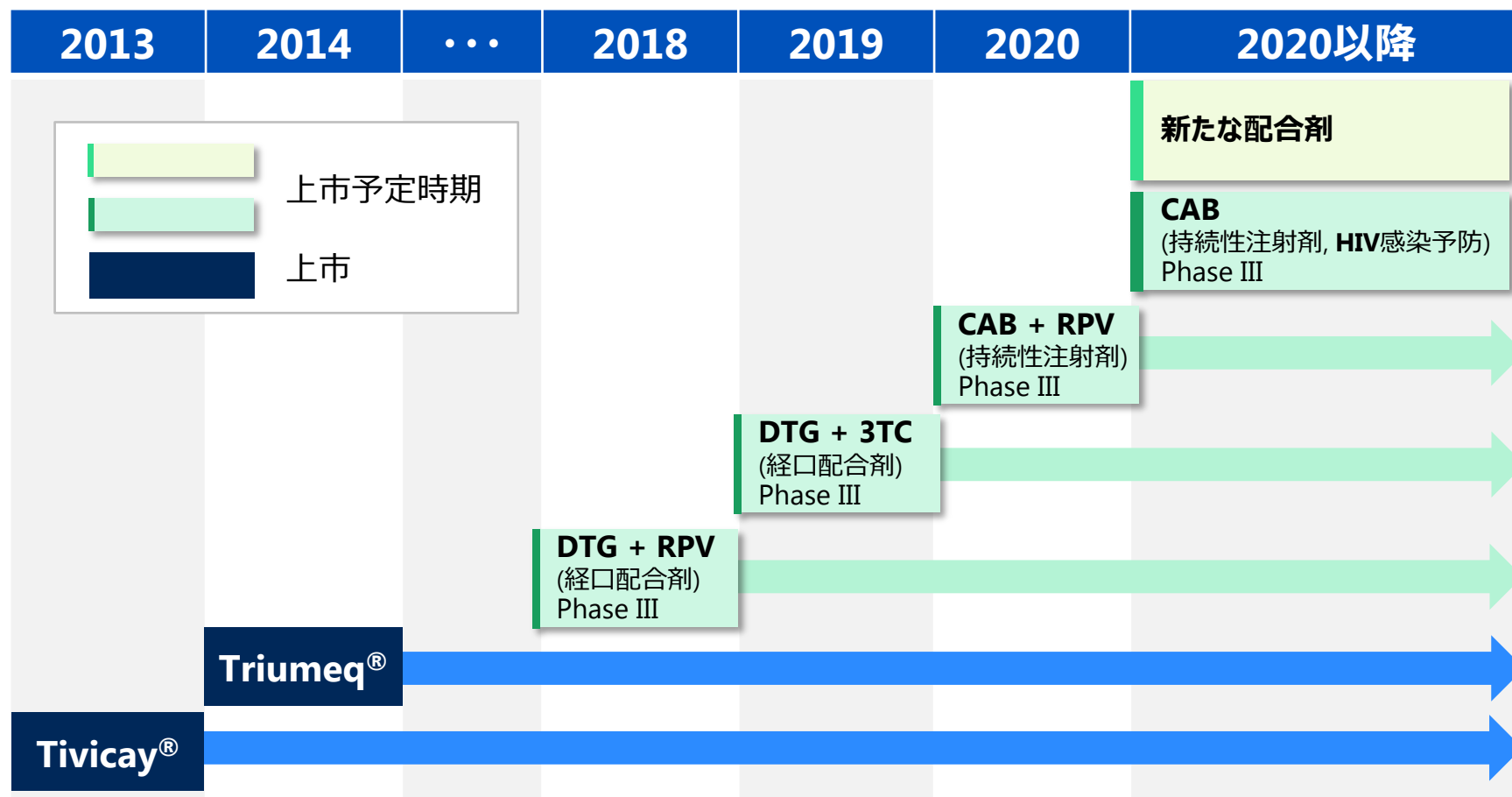
- 引き続き、株主還元、成長への投資、戦略的事業投資のバランスをとりながら、企業価値の最大化を図るとともに、自己株式の取得も含め、中長期的な利益成長を共に実感いただける株主還元施策を推進
- 2016年度配当：期末配当を**34円⇒38円**に変更 **(5年連続増配予定)**
(総還元性向：69.1%)
- 2017年度配当：1株当たり76円を予定

年度	1株当たり配当金			DOE	ROE
	中間	期末	年間		
2015	円 銭 28.00	円 銭 34.00	円 銭 62.00	4.1%	13.6%
2016	34.00	(予定) 38.00	(予定) 72.00	4.5%	16.3%
2017	(予定) 38.00	(予定) 38.00	(予定) 76.00	(予想) 4.3%	(予想) 16.3%

Appendix

- 開発品の進展 -

抗HIV薬開発品の状況



ViiV社はインテグラーゼ阻害薬をベースドラッグとした
新たな治療法の確立に向けて、開発活動を積極的に推進

パイプラインの状況 (2017年5月現在)



非臨床	Phase I	Phase II	Phase III	申請
	海外開発品	Cefiderocol 多剤耐性グラム陰性菌感染症 S-120083 炎症性疼痛 S-707106 2型糖尿病 S-488210 頭頸部がん S-222611 悪性腫瘍 S-588410 膀胱がん	S-033188 インフルエンザ感染症 Cefiderocol 多剤耐性グラム陰性菌感染症 ルストロンボグ 慢性肝疾患による血小板減少症	ナルデメジン（欧州） オピオイド誘発性便秘症
抗緑膿菌抗体	S-117957 不眠症			
中枢性神経障害性疼痛	S-237648 肥満症			
肥満症				
LCM創薬 吸入剤				
	国内開発品	Cefiderocol 多剤耐性グラム陰性菌感染症 S-237648 肥満症 S-525606 スギ抗原によるアレルギー性鼻炎 S-588410 膀胱がん	S-033188 インフルエンザ感染症 S-033188 インフルエンザ感染症(小児) Cefiderocol 多剤耐性グラム陰性菌感染症 グアンファシン 成人ADHD S-588410 食道がん	オキシコドン 慢性疼痛における鎮痛 オキシコドン 乱用防止製剤 リスデキサンフェタミン 小児ADHD アシテア® 小児通年性アレルギー性鼻炎(ダニ)
アウトライセンス	GSK3342830 多剤耐性グラム陰性菌感染症		DTG+RPV HIV感染症 DTG+3TC HIV感染症 CAB 持続性注射製剤 HIV感染予防 CAB+RPV 持続性注射製剤 HIV感染症 Janssen/シオノギβセクターゼ® 阻害薬 アルツハイマー病 オスフィーナ® 閉経後陰萎縮症に伴う陰乾乾燥感	感染症 疼痛・神経 代謝性疾患 フロンティア疾患
Janssen/シオノギプロジェ クト化合物 アルツハイマー病				

製品上市ターゲット



2017年度	2018年度	2019年度
国内事業		
スインプロイク® インチュニブ® 小児ADHD オキシコドン 乱用防止製剤 非がん性疼痛 アシテア®舌下錠 小児通年性アレルギー性鼻炎(ダニ)	S-033188 リスデキサンフェタミン	インチュニブ® 成人ADHD
海外事業		
Symproic®(米国)	Cefiderocol Osphena® 閉経後膣萎縮症に伴う膣乾燥感 ルストロンボパグ ナルデメジン (欧州)	
グローバル導出品		
	DTG + RPV	DTG + 3TC

Appendix

- 2016年下期の取り組み -
- 新製品の定義 -
- SGS2020におけるKPI -

2016年度下期の取り組み（第2四半期決算説明会より）



国内事業の強化・拡大

- **サインバルタ®**
 - 変形性関節症に伴う疼痛の適応を追加予定
- **ADHD治療薬**
 - グアンファシンの承認取得予定
 - 上市に向けた活動の推進

海外事業の強化・拡大

- **ナルデメジン**
 - パートナリング、販売体制の確立
- **Osphena®**
 - シェア拡大に向けた活動
 - 適応追加に向けた臨床試験継続

グローバル開発の推進

- **S-033188**
 - 自社単独グローバルPhase IIIの実施
- **Cefiderocol**
 - AMR対策への強いコミットメント

コストマネジメント

- 優先度が高い業務に資源を集中投下
- 全コスト（販売・管理費、研究開発費）を1つの枠内で管理するコストマネジメント方法への挑戦

新製品の定義（中期経営計画SGS2020のupdateより）



疼痛 神経

- サインバルタ®
- オキシドン乱用防止製剤、
オキノーム®、オキファスト®
- ナルデメジン
- グアンファシン、リスデキサンフェタミン

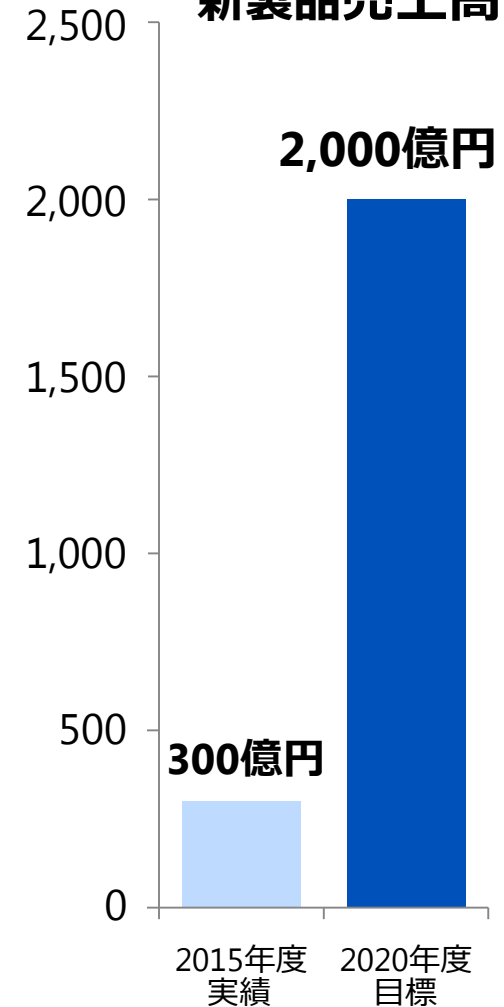
感染症

- S-033188
- Cefiderocol
- ラピアクタ®、インフルエンザ診断キット

その他

- ピレスパ®
- ムルプレタ®
- アシテア®
- グラッシュビスタ®
- Osphena®（Senshio®）

新製品売上高



SGS2020における定量目標 (SGS2020のupdateより)



成長性 KPI

- 新製品売上 : 2,000億円
- 経常利益 : 1,500億円

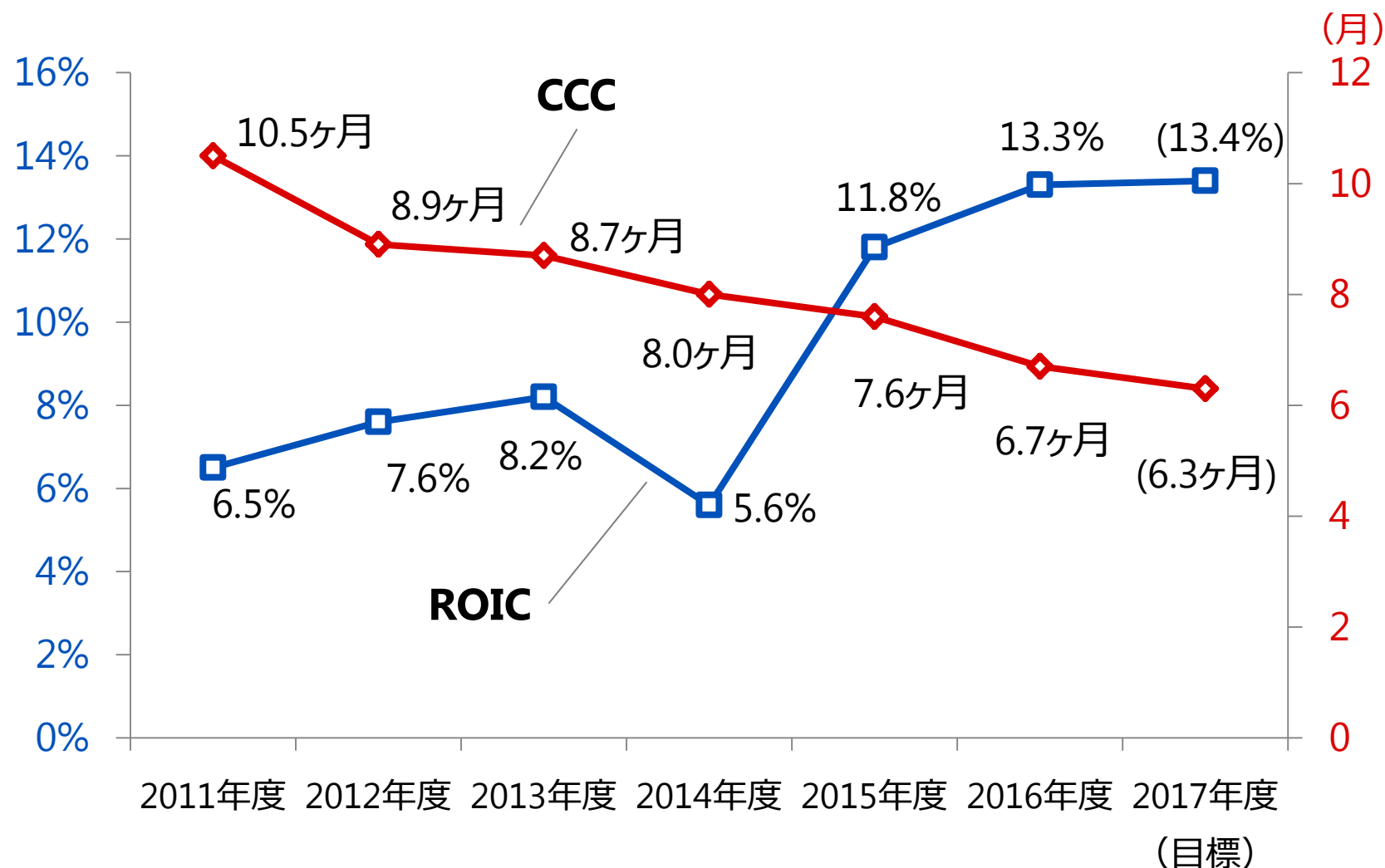
効率性 KPI

- ROIC : 13.5%以上
- CCC : 5.5ヵ月
- 自社創薬比率 : 50%以上

株主還元 KPI

- ROE : 15.0%以上
- DOE : 4.0%以上

ROICおよびCCCの推移



将来の見通しに関する注意事項



- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論・結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保険関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 承認済みの製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項により、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 本資料は国内外を問わず、投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。
- 本資料の利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。